

第19回 KMJキネマ倶楽部 上映会

ヒトラー政権に立ち向かった
21歳女性ゾフィーの勇気に世界中の観客がすすり泣いた感動の実話！

白ノバラの祈り

ゾフィー・ショル、最期の日々



原 題 Sophie Scholl
—Die Letzten Tage
製作年 2005年
製作国 ドイツ
配 給 キネティック
上映時間 121分
監 督 マルク・ローテムント
キャスト
ゾフィー・ショル：ユリア・イェンチ
ロベルト・モーア：アレクサンダー・ヘルト
ハンス・ショル：ファビアン・ヒンリヒス

ミュンヘン大学の大学生、ゾフィー・ショルは、兄のハンス、友人のクリストフと共に反ナチス抵抗組織「白バラ」のメンバーとして、ナチスへの抵抗と戦争の早期終結を呼びかけるピララの作成し、郵送する活動をおこなっていた。ある日、大学構内でのピララまきを決行したゾフィーとハンスは、その場で大学の関係者に発見され、ゲシュタポに逮捕される。当初は「置いてあったピララを落としただけ」と語り、組織とは無関係のノンポリを装って早々に釈放されそうだったゾフィーだったが、すぐに証拠となる大量の切手、ピララ原稿などが押収され、兄が罪を認めたことを知る。全てを覚悟したゾフィーは容疑を認め、良心によって行動した自らの正当性を訴えることを決意する。それは、ナチスの正当性と「法の支配」を説き、過ちを認めて助命を求めるように勧める尋問官モーアとの、さらにはゾフィー達を「裏切り者」として断罪し、「寄生虫」として葬り去ろうとする判事ローラント・フライスラーとの戦いの始まりを意味していた。

日 時 2020年2月15日(土)
13:30 受付 14:00 開始 17:00 終了

会 場 たかつガーデン3階「蘭」

大阪市天王寺区東高津町7-11
近鉄『上本町』・地下鉄『谷町9丁目』駅

定 員 20名

* 会場の定員があるため参加ご希望の方はお申し込み下さい。
* 終了後、懇親会を行います。ご希望の方はお申し込み下さい。
主催・連絡先 在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
〒544-0032 大阪市生野区中川西3-10-18
電話06-6717-2701 FAX06-6717-2702
メール：kmj@star.odn.ne.jp